Press Release

2026年10月29日

D×DLeap、「AI データマネジメントサービス」を提供開始

～企業内に分散するデータや業務知見を、AI が活用できる情報資産へ～

アドソル日進株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長 篠﨑俊明、以下、アドソル日進）は、デジタルマーケティングをはじめ、企業のデータ活用において AI 活用が前提となる中、データマネジメントサービス「D×DLeap（ディーディーリープ）」のサービスメニューを強化し、2026 年 10 月から「AI データマネジメントサービス」を提供しますのでお知らせします。



本リリースのポイント

- データマネジメントサービス「D×DLeap」のサービスメニューを強化し、2026 年 10 月から「AI データマネジメントサービス」を提供開始
- 企業内に分散するデータや業務知見を収集・統合・構造化し、AI による分析・活用が可能な情報資産として再構築
- 「収集・統合」「構造化・高品質化」「AI 分析による価値創出」の 3 ステップで、データマネジメントから AI 活用による価値創出までを一貫して支援

1. サービス提供の背景

AI の進展により、デジタルマーケティング※やデータドリブンな意思決定など、データマネジメントにおいて AI 活用が前提となりつつあります。一方で、多くの企業では顧客データや購買データ、Web アクセスデータに加え、業務システムや BI ツール、Excel ファイル、各種業務資料など、多様な情報資産が部門ごとに分散しており、生成 AI を導入しても、それらを AI が十分に活用できる形で管理・構造化できていないことが課題となっています。

アドソル日進はこれまで、データマネジメントサービス「D×DLeap」を通じて、金融業・小売業・サービス業を中心に、Web サイト運用（アクセス解析や UI/UX 改善等）やメールマーケティング、購買データ分析などのデジタルマーケティング支援に加え、経営情報のリアルタイム可視化による意思決定支援など、お客さまのデータ活用と意思決定の高度化を支援してまいりました。

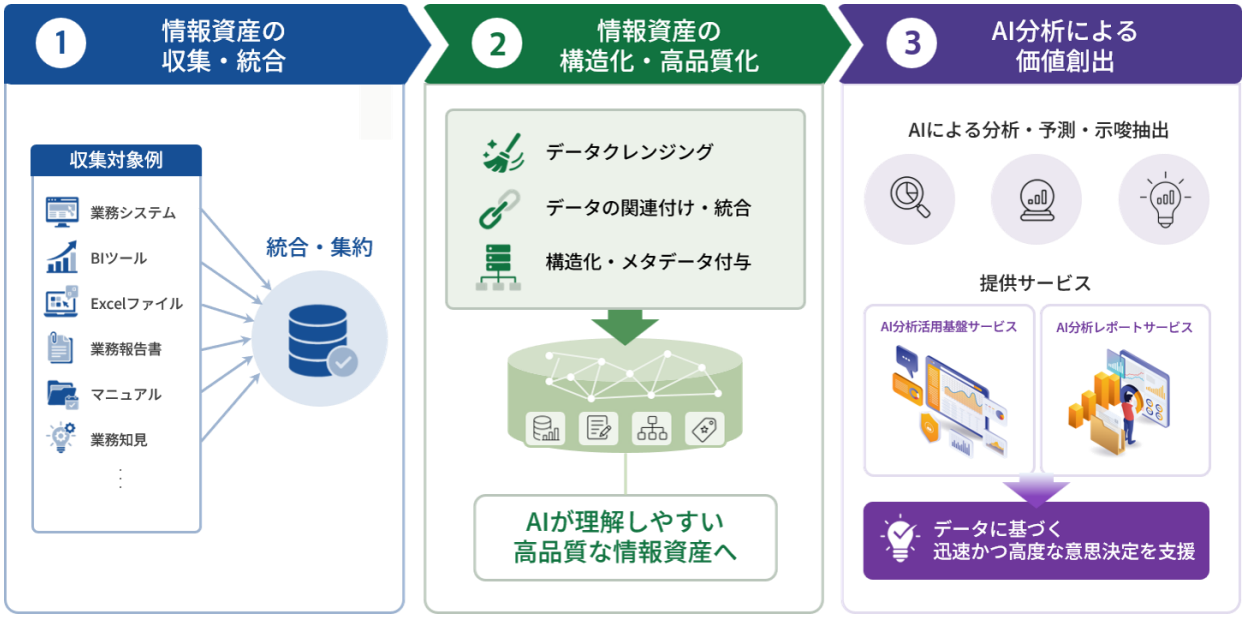
こうした環境変化を踏まえ、このほど D×DLeap のサービスメニューに「AI データマネジメントサービス」を拡充しました。企業内に分散するデータや業務知見を収集・統合・構造化し、AI が活用できる情報資産として再構築することで、デジタルマーケティングの高度化や意思決定の迅速化、新たな価値創出を支援します。

報道関係者 お問い合わせ先： アドソル日進株式会社 経営企画室 広報・IR 担当
TEL（代表）：03-5796-3131 e-mail：ir@adniss.jp

2.サービス概要

AI データマネジメントサービスは、お客さまと伴走しながら、企業内に分散するデータや業務知見を AI が活用できる情報資産へと変換し、データに基づく意思決定の高度化と新たな価値創出を支援します。

「収集・統合」「構造化・高品質化」「AI 分析による価値創出」の 3 つのステップを通じて、企業のデータ活用高度化と継続的な成果創出を実現します。



① 情報資産の収集・統合

業務システム、BI ツール、Excel ファイル、業務報告書、マニュアルなどに分散するデータや業務知見を収集し、企業横断で活用可能な情報資産として統合します。

② 情報資産の構造化・高品質化

データクレンジングや関連付けを行い、情報資産の品質を向上します。さらに、顧客・製品・設備・業務知見など企業内に散在する情報を横断的に結び付けて構造化することで、AI が情報同士の関係性を理解しやすい状態を実現します。

③ AI 分析による価値創出

構造化された情報資産を活用し、AI による分析・予測・示唆抽出を実施します。お客さまのニーズや運用方針に応じて、アドソル日進のデータマネジメントと AI 活用の知見を融合した「AI 分析活用アセットサービス」、またはアドソル日進のデータサイエンティストが分析を実施する「AI 分析レポートサービス」を提供し、迅速かつ高度な意思決定を支援します。

3.サービスの特長

(1)データマネジメントと AI 活用の知見を融合した「AI 分析活用アセット」

アドソル日進がさまざまなプロジェクトで培ったデータマネジメントの実績・知見と、AI コンサルティング＆エンジニアリングサービス「＋AIdea（プラスアイデア）」を通じて蓄積した AI 活用ノウハウをもとに、分析シナリオや分析観点、プロンプトテンプレートなどを体系化した「AI 分析活用アセット」を提供します。高度な分析スキルや AI 活用経験に過度に依存することなく、効率的かつ継続的なデータ活用を実現できます。

報道関係者 お問い合わせ先： アドソル日進株式会社 経営企画室 広報・IR 担当
TEL（代表）：03-5796-3131 e-mail：ir@adniss.jp

（2）専門チームによる伴走型支援

データサイエンティストをはじめ、データマネジメントと AI 活用の専門人材が連携し、課題整理から企画構想、情報資産の収集・整備、AI 分析、運用定着までを一貫して支援します。継続的な改善活動を通じて、お客さまのデータ活用基盤の高度化と成果創出を支援します。

（3）AI 活用の成否を左右する情報資産整備

多くの AI 活用施策では、分析や生成 AI 導入が先行する一方、本サービスではその前提となる情報資産の整備に重点を置いています。分散するデータの収集・統合、クレンジング、構造化から AI 分析までを一貫して支援することで、企業内に埋もれた情報資産の価値を最大化し、実効性の高い AI 活用を実現します。

4.活用シーン

■ **デジタルマーケティング施策の最適化**｜金融業・保険業・サービス業 など

Web アクセスデータや顧客データを活用し、見込み顧客の発掘やターゲティングの高度化、Web サイトの UI/UX 改善、SEO や生成 AI 検索を見据えた AIO 施策など、顧客体験の向上に向けたデジタルマーケティング施策の最適化を支援します。

■ **購買データを活用した販売戦略立案**｜小売業・EC 事業者・サービス業 など

購買履歴や会員データ、店舗導線データ等を分析し、顧客ニーズの把握やメールマーケティングの最適化、アップセル・クロスセル施策の高度化を通じて、顧客単価向上やリピート率向上に伴走します。

■ **データドリブン経営・業務意思決定支援**｜全業種

業務システムや各種データを横断的に統合・分析し、売上動向や業務 KPI の可視化、業務改善施策の立案を支援します。データに基づく迅速な意思決定や生産性向上に貢献します。

5.今後の展望

今後は、生成 AI に加え、フィジカル AI やエッジ AI の発展により、活用されるデータはさらに多様化・大規模化していくと考えられます。

アドソル日進は、こうした新たなデータソースとの連携も見据えながら、企業内に蓄積された業務知見や既存データと現場データを結び付ける AI データマネジメントサービスの拡充や、AI マーケティング支援メニューの拡大を通じて、企業のデータマネジメント高度化と価値創出に貢献してまいります。

6. 詳細 URL

https://adniss.jp/leapx/ddleapai.html

※ デジタルマーケティング ： Web サイトやメール、SNS などのデジタルチャネルを活用して顧客に訴求し、その過程で得られる顧客データや行動データを活用しながら、継続的に改善を行うマーケティング手法。

報道関係者 お問い合わせ先： アドソル日進株式会社 経営企画室 広報・IR 担当
TEL（代表）：03-5796-3131 e-mail：ir@adniss.jp

（ご参考）アドソル日進のデータ・AI サービス

サービス名	データマネジメントサービス D×DLeap	AI コンサルティング＆エンジニアリングサービス +AIdea
概要	分散されたデータや業務知見の収集・統合・構造化を支援。 高度な分析・予測を実現し、パーソナライズされた顧客体験とマーケティング成果の最大化を支援	AI 活用の構想策定から導入・開発・運用までをトータルで支援。 データと AI の力で業務変革を実現し、継続的な成果創出にむけて顧客と一体になって推進
支援領域	・データ活用基盤構築 ・デジタルマーケティング ・データ分析支援 ・AI データマネジメント支援	・AI サービス・システム導入 ・AI 品質向上・ガバナンス構築
提供価値	データ活用の高度化と 迅速・的確な意思決定を実現	AI 活用による業務効率化、 新たな価値創出を実現
サービスサイト	https://adniss.jp/leapx/ddleap.html	https://adniss.jp/plusaidea/

以　上

■サービスに関するお問い合わせ先：
アドソル日進株式会社　LeapX 担当
e-mail：LeapX_sales@adniss.jp

※ 本リリースに記載された内容は、**発表日時点の情報**です。その後、サービス提供状況や仕様などが変更される可能性がありますので、あらかじめご了承ください。
※ その他会社名、製品名、サービス名は、当社または各社、各団体の商標もしくは登録商標です。
なお、本文中において TM、®マークの一部を記載しておりません。

報道関係者 お問い合わせ先： アドソル日進株式会社　経営企画室　広報・IR 担当
TEL（代表）：03-5796-3131　　e-mail：ir@adniss.jp